

日本共産党大躍進！21議席に！

北関東ブロック2議席、塩川・梅村当選！

14日投票の総選挙で、日本共産党は、比例代表選挙で前回から240万票増やし、606万票（11.37%）を獲得し、20議席を獲得しました。さらに沖縄1区で赤嶺政賢候補が当選し、改選前の8議席から2.6倍の合計21議席へと大躍進し、衆議院でも議案提案権を獲得しました。衆議院選挙での躍進は、18年ぶりです。

沼田市内の比例得票は、2,520票、得票率では12.06%を得ることができました。北関東ブロック全体では、686,893票で11.67%を獲得、塩川てつや、梅村さえこの2議席を実現することができました。

また、小選挙区では、704万票（13.3%）を獲得しました。群馬1区では、たなはしせつ子候補が21,394（11.40%）を獲得、沼田市では1,916票、得票率9.28%でした。

ご支持をいただいた有権者のみなさん、ご奮闘いただいた支持者・後援会のみなさん、赤旗読者・党員のみなさんに心からお礼を申し上げます。今後は、安倍政権の暴走ストップのため、公約実現に全力で取り組みます。

自民党は4議席減、比例得票は33%・沖縄は全滅

小選挙区18万票減、得票率48%で議席75%獲得

自民党は大勝と報道されていますが、公示前から4議席減らし、比例得票は100万票増やしましたが、得票率は33.11%（68議席）です。小選挙区では、前回から18万票減らし、得票率48.10%で議席は75.25%（223議席）も獲得しています。まさに比較第1党が有利となる小選挙区制の弊害が出ています。そんな中、辺野古新基地反対の統一候補を擁立し、自民党候補を落とそうと力を合わせた沖縄の4小選挙区で、共産、社民、生活、無所属の4候補が全員自民党候補に勝ち、自民党を全滅させました。



塩川鉄也氏と梅村さえこさん

沼田市12月議会報告

市議会議員の定数を2人削減し、20人に 日本共産党市議団は削減に反対

沼田市議会は、12月議会の最終日に議員提案で定数の2人削減を提案し、賛成多数で可決しました。平成23年に2人減らして24人から22人にしましたが、それに続き日本共産党以外のすべての会派が賛成しました。

日本共産党市議団は、大東宣之議員が反対討論に立ち、少子高齢化、過疎化、人口減少、地域経済の疲弊、先行き不安な市財政など沼田市を取り巻く状況が最も厳しいとき、より多くの市民の声や願いを市政に反映し、打開していくことこそが必要であり、議員はそれに全力をあげるときであって、チェック機能の低下、議会制民主主義の後退を招く削減は、行ふべきではないと主張しました。

マイナンバー制実施の危険性を指摘 補正予算審議

一般会計の補正予算では、行政情報化推進事業として、マイナンバー制（国民総背番号制）の推進のための中間サーバー・プラットフォーム利用負担金が計上されました。マイナンバー制度とは、氏名、住所、生年月日、所得、税金、年金などの個人情報とその番号で一元管理する「共通番号制度」のことです。



井之川市議

井之川博幸議員は、「県市町村が、地方公共団体情報システム機構に加入し、国や他の自治体とインターネットでつなぐために国内2か所で中間サーバー・プラットフォームを経由して情報のやり取りをするための予算が計上されているが、『中間サーバー・プラットフォーム構築プロジェクト管理支援業務を受けたい企業を募集し、一般競争入札を行ったが、入札希望企業がいなくて不調に終わった』という情報が流れている。大事なシステムを受ける企業がないということは、個人情報保護問題などで心配な状況ではないか。また、市庁舎内での情報漏れなどでもセキュリティは万全なのか」など犯罪に利用される可能性も指摘されている「マイナンバー制度」について、危険性を指摘し、市の対応について質しました。

2014年12月21日 No.730

いのさんニュース

発行所沼田市下久屋町983 ☎23-1519

井之川博幸議員活動地域版部内資料